
SNOW ~ 残された者 ~

夢宮架音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

SNOW〜残された者〜

【Nコード】

N1080I

【作者名】

夢宮架音

【あらすじ】

雪にまつわる短いお話。去りゆく者と対になっています。二つで一つのお話ですが、これ一つでも読めます。

静かに雪が舞い落ちる様を、少女は窓から眺めていた。

彼が戦場へと旅立って行ったのは秋の終わりのことだった。

あのもの静かな彼が剣を持って戦い、あまつさえ人を殺さなければならぬのかと思うと胸が軋んだ。

あの優しい青年はそんなこと出来ないとも思うし、またしてほしくない。

けれどそれよりも彼が死んでしまうことのほうが怖かった。

（止めたのに…）

彼はいつだって優しくかった。

自分の願いは何だって叶えてくれた。

少女がどんな無茶を言っても、困ったような顔をして、いつだって最後には叶えてくれた。

なのに、本当に叶えてほしかった願いは叶えてくれなかった。

どんなに脅すようなことを言っても、行くなといっても聞き入れてくれなかった。

ただ笑って大丈夫だと、心配ないと言っばかりで一番大切な願いは叶えてくれなかった。

少女はベッドに歩み寄り、身を投げ出すようにそこに倒れこむ。

青年のベッドに身を寄せても、今では彼がそこにいたという証を感じることは出来なくなっていた。

少女は枕をぎゅっと抱きしめる。

（早く帰ってきて…）

不安で胸が締め付けられる。
心配で身体が千切れそうになる。
早く無事な姿を見て安心したかった。
不安を追い払うように少女は目を閉じる。

気づくと少女は一人麦畑の中に立っていた。
一面に広がる金色の稲穂。
残光を受けて燃え上がるかのような夕焼け。
彼が好きだといっていた景色。
その中に少女は一人でたたずんでいた。

『……』

突然誰かに後ろから呼ばれた気がした。
振り向くと、少し離れた場所に彼が立っていた。

（無事だった…？）

彼の存在が嬉しくて、でもそこに居るのが信じられなくて少女は青年に走り寄る。

『ただいま』

青年が告げる。
その声に確かな存在を感じる。
嬉しくて、泣きたくなかないのに安堵で涙がこみ上げてきた。

（おかえり）

青年の口元にいつもの穏やかな笑みが浮かぶ。
帰ってきたのだ、本当に。

たくさん話したいことがあった。

たくさん聞きたいことがあった。

早く聞いてほしいことがあった。

帰ってきたら話そうと決めていたことがたくさんあった。

それでも少女はいつもの気の強さを押し隠し、帰ってきた彼を気遣い、近くの木陰へと足を運ぶ。

その間ももどかしくて仕方なかった。

なのにいざ座り込み、沈黙が訪れると言葉は声にならなかった。

金色の海がざわめく音だけが辺りに響いている。

しばらく沈黙していると、肩に重みを感じた。

青年が背を樹に預け、少女に寄りかかっていた。

眠ってしまったのか、まぶたも閉ざされていた。

（もう、どこにも行かないでよ…）

少女は小さくささやく。

青年はただ幸福そうな笑みを浮かべたまま、深い眠りに身を委ねていた。

（…？）

何かをたたく、硬い音が少女の耳に届いた。

重いまぶたを押し開けると、すでに外は晴れ、夕闇が押し迫ろうと

していた。

少女は自分が夢を見ていたことを知る。

再び硬い音が響く。

少女は立ち上がり音の元へと急ぐ。

（帰ってきたのかな？）

はやる気持ちを抑え少女は外へと通じるドアを開く。
少女はそこに一人の男の姿を見た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1080i/>

SNOW～残された者～

2010年12月23日14時28分発行